

# Shake Hands 常滑国際交流協会



第 120 号 2018 年 3 月 16 日発行

〒479-0837 常滑市新開町 5-58 電話・FAX：0569-34-4797

E-メール：[tia@japan-net.ne.jp](mailto:tia@japan-net.ne.jp) ホームページ：<http://www.japan-net.ne.jp/~tia/>

## 2018 年度 第 1 期 接客英会話講習の参加者募集のお知らせ



常滑国際交流協会では、海外からのお客様との有意義な国際交流の出来る人材育成を目指して「接客英会話講習」を行っています。下記により 2018 年度 第 1 期の「接客英会話講習」参加者募集します。

### 記

第 1 期 日程：毎回水曜日、(全 12 回)

4 月 18 日、 4 月 25 日、 5 月 9 日、 5 月 16 日、 5 月 23 日

5 月 30 日、 6 月 6 日、 6 月 13 日、 6 月 20 日、 6 月 27 日

7 月 4 日、 7 月 11 日

時 間：午前 10 時～12 時

場 所：常滑市 陶の森・資料館 2 階 講座室

講 師：Jason Ford さん・他 (H.E.Art 英会話)

募集人員：30 名 (定員になり次第締め切ります。)

参加費：12,000 円 (常滑国際交流協会の会員は 10,000 円)

テキスト代：テキスト代 2,050 円 (予定)

\* 常滑国際交流協会の個人会員の年会費は 2,000 円です。

\* まだご入会いただいていない方はぜひこの機会にご入会下さいますようお願い申し上げます。

申込み：常滑国際交流協会へ氏名・住所・電話番号・メールアドレスをご連絡下さい。

〒479-0837 常滑市新開町 5-58 常滑商工会議所内 **常滑国際交流協会**

電話・FAX 0569-34-4797 メールアドレス [tia@japan-net.ne.jp](mailto:tia@japan-net.ne.jp)

## 2017年度 鬼崎北小学校 タイ受入れ事業

鬼崎北小学校国際交流委員会 委員長 北野有里

3年前、私たち鬼北小学校国際交流委員会は、十数年ぶりに活動を再開しました。何もなかったところから始まった私たちは、TSIEを始め、他校の国際交流委員会のみならず、地域ボランティアの方々、そして、学校の先生方の惜しみないご協力のもと、今年度もタイからの受入れ事業を無事終えることができました。ありがとうございました。

10月7日、ドキドキしながら生徒8名リーダー2名の派遣団を迎えたのが、昨日のことに思い出されます。日本の子どもたちと同じようにランドセルを背負って通った学校、ホストマザーに作ってもらったお弁当を持って、5年生や6年生と一緒にいった校外学習。初めて触れる琴に、常滑ならではの陶芸体験。美しい着物を目の前にして、一番はしゃいだのは2人の先生たちでした。

毎日、新しい友だちに出会い、初めてのことに果敢にチャレンジし、たった2週間という短い間でしたが、彼らは、ずっと前から一緒にいるかのように、私たちに溶けこみ、たくさんのすてきな思い出を残してくれました。

鬼北小の子どもたちは、初めて触れる日本の外の世界を「自分と何か違うけど、おもしろいときには笑うし、嫌なことには怒る」「いろいろ違う。でも、いろいろ一緒!」と戸惑うことなく、あっという間に受け入れてしまいました。

純粋な今だからこそ、全てのことをまっすぐに吸収し、どんな障害もものともせず友だちになれる、好奇心旺盛でたくましい子どもたち。私たちの見たかった姿が、そこにありました。遠くの外国だった「タイ」が、今、友だちの住む国「タイ」に変わり、子どもたちの世界は、ぐっと広がりました。「今、何してるかな?」海の向こうに思いを馳せ、そして自分の中で何かを感じ、見つけ、生きる力にしてほしい。そう願わずにはいられません。

そんな経験のできる素晴らしい機会を与えてくださった皆さまに、心から感謝いたします



出迎えの日。まだ少し緊張しています。



レゴランドで一気に距離が縮まりました。



ムエタイをアレンジした勇ましいカルチャーショー。タイでも大人気『ドラえもん』の歌も日本語で歌ってくれました。



大好評だった着付け体験



みんなで『世界が一つになるまで』を一緒に歌った。フェアウェルパーティー。涙が止まりませんでした。

## Shake Hands 120

### オーストラリア受入事業を終えて

常滑市立三和小学校 国際交流委員会 中村沙織



29年度三和小学校受入事業を行いました。6月18日から7月6日までオーストラリアのリージェンシーパーク校のリーダー2名、児童5名を受け入れました。

学校では各学年のクラスレッスン、お抹茶、焼き物など、様々な体験をしてもらいました。ホスト以外の児童ともコミュニケーションをとることができました。

学校以外ではINAXライブミュージアムでのタイル作り、えびせんべいの里でのせんべい作り、そしてまるさい着付け教室にて着物を着せてもらい、扇子や刀などを持って記念撮影を楽しんでいました。

週末には全ホストファミリーで犬山城、トヨタ産業技術記念館へ行ったりもしました。私たちにとっても充実した時間を過ごすことができました。ご協力くださいました全ての方々に感謝申し上げます。



### マレーシア派遣団との貴重な交流 大野小学校国際交流実行委員長 平野智保子

今年度、大野小学校は、12月1日～12月17日までの17日間、マレーシア・セクション7小学校からの派遣団の受入れを行いました。

マレーシアは、今まで交流してきた他の国と違い、宗教上、配慮しなければならないことがあり、受入れる側の私たちにとっては、楽しみである反面、正直、不安要素もありました。

しかしながら、その不安は、派遣団が来日して間もなく無用のものとなりました。マレーシア派遣団の子供たちは、みんなとても親しみやすく笑顔の絶えない子供たちで、日本のあらゆるものに興味を示し、積極的に受入れようとしてくれました。また、リーダーの先生も、お祈りの時間を、スケジュールに影響しないよう、早めたり遅くしたりしてくださいました。また、こちらで準備をした昼食用のハラル対応のお弁当も、喜んで食べてくれました。

マレーシア派遣団が行ったクラスレッスンは、どのレッスンもリーダーの先生の説明がとても分かりやすく、日本の子供たちもすぐに理解することができ、大変盛り上がり楽しい交流になりました。ホストファミリーのご家族との交流も、リーダーの先生方のしっかりしたサポートのお陰で、派遣団の子どもたちもひどいホームシックにかかることなく、大変友好的なものになったと思います。ホスト児童にとっても、大野小学校の児童にとっても、そして受入れ準備をした委員会メンバーにとっても、この交流はマレーシアのことを学ぶ大変良い機会になりました。この貴重な経験が今後の国際交流につながっていくことを願っています。

今後も大野小学校国際交流実行委員会では、一層、国際交流活動が盛り上がっていくよう取り組んで参ります。



## プラハ体験記

鯉江正廣

私は3月初めに約1週間の日程でチェコのプラハへ行ってきました。名古屋の旅行会社主催の「チェコ共和国独立100周年記念・日本の祭典2018」という2日間のイベントに参加し、和菓子体験指導をしました。（旅費は全額自前）

日本の伝統的芸能を主とした、全部で約80名の大団体でした。北海道から沖縄までの様々なステージ公演、書、陶芸、写真、染色などのワークショップがあり、もちろんチェコ側の参加者も多数ありました。

プラハ駅近くの国立劇場を貸し切りで、入場者は計約2,000人、劇場も満杯。（1人1日日本円で約550円の有料、15歳未満は無料）家族連れも多く、ワークショップの中では、自分で言うのもなんですが、私の和菓子体験が、いちばん混んでいたような気がします。

2日間分で、120名の材料を持参して行きましたが、1日目で90人分を使ってしまい、2日目は早々に終了、展示用に持ち込んだ工芸菓子の椿の一輪挿しの説明をしました。

チェコの東大といわれるカレル大学の日本語科の学生ボランティア達にも助けられてコミュニケーションには全く不安はありませんでした。



国立ヴィノフラディ劇場



ワークショップの様子

「日本に住んだことがある」という現地市民が多数訪れ、積極的に日本語で声をかけてくれたり、1日目の講習で感激をしたと言ってプレゼントを持って2日目も来てくれたり、チェコの人々の日本に対する関心の大きさや好意を肌で感じました。

このような交流イベントはこれまでに、イタリアやニューヨークなどでも開いているとのこと、社長を入れて5人という小さな旅行会社がこれほどの大きな祭典を企画できるのには本当に驚きました。日本での留守役は中国人スタッフ一人だけとのこと。私は1年前から、2か月に一度ほど名古屋での日本文化紹介プログラムで和菓子の体験指導をしてきた関係で声をかけられました。

この旅で体験したこと、感じたことなど、たとえば各地のトイレ事情、現地のスーパーマーケットのしくみ、トラム（路面電車）体験など別の機会に報告したいと思います。